



声のバス

声①

市内のバス路線は、とても不便に感じます。私が住んでいる地区の

バス停から、市役所や総合福祉センターに直接行くことはできません。

また、友人から「ピーバス」は、公共施設や病院を巡回し、とても便利であると聞きましたが、私の地区は運行されていません。どこに出かけるのも大変です。バス路線をより便利なものに変更することはできないのですか？

答①

現在、市内のバス路線は、JR千歳駅を中心に設定されています。そのため、駅を利用するには便利であるという声がある一方、ほかの目的地に直接行くには不便であるとの声もあります。

また、コミュニティバス「ピーバス」の運行範囲を広げてほしいという声も寄せられています。

こうした声を反映するためには、バス路線の収支が安定し、運行するバス会社の運営が順調であることが必要です。しかし、現実には大変厳しい状況が続いています。

自家用車の普及や商業施設が郊外に立地するなど、さまざまな社会的要因によりバスの利用者は年々減っています。バス会社は、運賃の値上げや路線を短縮して経費を減らすなどの対策をとっています。しかし、一時的に収支を改善する効果はあるものの、利用者の減少に歯止めはかかりません。

その結果、バス会社の赤字やバス会社を支援する市の補助金が増えるという悪循環に

バス路線を変更することはできないの？

なっています。

バス路線の延長や変更を考えるためには、新たな視点に立った対策が必要です。

高齢化が進む中、日常生活の移動手段を確保し、充実させることは、住みよいまちづくりを進める上で重要なことです。

利用者を増やし、バス路線の収支を改善するためには、どのようなサービスの向上が必要か、市は、バス会社とともに路線のあり方を含め、研究を行っています。

今後は、地域・バス会社・市の3者が協働して支え合うことが、地域の足を守ることにつながります。市民の皆さんのご協力をよろしくお願いたします。

市民環境部主幹(公共交通担当)
☎(24)3131 内線233



販売は春・秋の2回行い、たくさんの方でにぎわいました。

《30歳代女性》

【ワンポイントメモ】

平成19年に市内のバス路線を見直し、一部の路線で経路が短縮されました。影響を受けた地域のひとつ、桜木町内会では、地域でバス路線を支える取組として、町内会の大掃除のときにバス会社と協働でバスカードの出張販売を行っています(右の写真)。皆さんの町内会でも参考にしてください。

案内

「声のラン」では、おもに「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。そのほか皆さんからの一般的な質問などもご紹介しますので、普段から疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、ほかの市民にも参考になる内容を採用させていただくため、個人的なことなどすべてを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8636 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】